

寒い中、熱心に観望いただいた1月24日の観望会でした。

天気予報では、観望会途中に雪雲が襲来する予報でしたが、20時10分過ぎまで観望いただくことができました。寒中の時期、氷点下の気温でもあり、来館される方はいつもよりも多くはありませんでしたが、観望された方々は、熱心に繰り返しご覧いただいていた様子でした。月齢5の月、天文台の建物に19時過ぎには隠れてしまう輪が串だんご状の土星、衝を過ぎた木星、オリオン大星雲、すばるなどをご覧いただきました。極大を迎えているミラは、肉眼では赤色があまり感じられませんでした。当日は、会員7人での実施となりました。

次回の玄関前観望会は天文台まつりでの太陽観望会(1/31 土曜日と2/1 日曜日)と夜間の観望会(1/31)です。防寒をしっかりと是非ご参加ください。



観望会の一コマ



観望会参加の同好会の皆さん



極大を迎えたくじら座のミラ